

輸送動向について（10月分）

平成23年11月

1. 輸送概況

今月は、東日本大震災による常磐線の不通に加え、東海道線において人身障害事故等の輸送障害が発生し、月全体では高速貨124本が運休した。

荷動きについては、震災による生産活動の低迷に加え円高による販売減の影響等もあり、月を通して低調に推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品、農産品・青果物等が前年を上回ったものの、震災により被災した生産拠点を有する紙・パルプ、化学工業品、化学薬品等が前年を下回り、全体では前年比95.7%となった。自動車部品は震災による減産を挽回するためメーカーが増産体制となり大きく増送となった。また、農産品・青果物は北海道地区の野菜類の出荷が好調となった。一方、化学工業品等は円高に伴う輸入品の増加に加え需要側での在庫調整もあり減送となった。また、家電・情報機器は昨年、家電エコポイント制度の変更を見据えた販売増があったことから本年は減送となった。

車扱貨物は、台風12号により線路が被災し輸送が中断しているセメント・石灰石が前年を下回ったものの、昨年気温が高めに推移し灯油等の需要が減少した石油が前年を大きく上回り、全体では前年比101.9%となった。なお、平成22年7月に広島・山口地区の大雨により橋梁が流失し不通となっていた美祢線は、10月17日に貨物列車による輸送が再開した。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,812	1,894	95.7%	11,035	12,211	90.4%
車 扱	758	744	101.9%	4,986	5,439	91.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	239	229	10	104.4%
	化学工業品	170	181	-11	93.9%
	化学薬品	125	137	-12	91.2%
	食料工業品	252	259	-7	97.3%
	紙・パルプ	239	288	-49	83.0%
	他工業品	146	137	9	106.6%
	積合せ貨物	190	196	-6	96.9%
	自動車部品	83	67	16	123.9%
	家電・情報機器	35	45	-10	77.8%
	エコ関連物資	28	31	-3	90.3%
	その他の他	305	324	-19	94.1%
コンテナ計	1,812	1,894	-82	95.7%	
車 扱	石油	571	515	56	110.6%
	セメント・石灰石	58	81	-23	71.9%
	車 両	65	77	-12	85.0%
	その他の他	64	71	-7	90.7%
	車 扱 計	758	744	14	101.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)